

北九州市議会 議会報告会 意見聴取会

第6回

市議会と市長は、対等な立場で互いに意見を出し合い、協力して市民の暮らしをよくするために仕事をしています。議会報告会では、9月に議会であったこととお話します。
意見聴取会では、私たち市議会議員に、市民の皆さんの声を聴かせてください!!

報告項目

- ・自然災害対策
- ・在宅介護の実態とその対策
- ・小・中学校のトイレの洋式化
- ・老朽家屋など除却促進事業
- ・少子化対策
- ・北九州空港の活性化

いずれも18:00受付、18:30開始、開催時間90分程度

11月17日(月) 八幡西生涯学習総合センター コムシティ3階
19日(水) ウェルとばた 多目的ホール

21日(金)は 北九州市役所横 議事堂 議場で **初開催**

議場開催では、いつも議員が座っている席で参加します!(先着60席)

ギカイを聴こう!! ギインに話そう!!

※議会報告会は議員全体で行なうもので、中村よしおの市制報告会ではありません。
中村よしおは第一分科会の主査として報告します。



中村よしおプロフィール 作業療法士(リハビリの専門職)

- 昭和39年5月12日生まれ(50歳)
 - 徳香幼稚園、横代小学校、横代中学校、小倉南高校(テニス部)を経て国立療養所福岡東リハビリテーション学院 作業療法学科を卒業(作業療法士免許取得)
 - 民間医療機関で作業療法士として7年間勤務
 - 1993年 北九州市役所に入職(10年間勤務)
 - 2003年4月 小倉リハビリテーション学院作業療法学科教務部長
 - 2005年1月 北九州市議会議員選挙に挑戦、初当選
 - 2009年2月 北九州市議会議員選挙2期目当選
 - 2011年4月 新会派「議員定数削減北九州」結成
 - 2012年8月 議員定数削減 54,701名の署名を集め、直接請求を行う
 - 2013年1月 北九州市議会議員選挙3期目当選
 - 2013年2月 ハートフル北九州入会
- (役職)
北九州市ソフトボールスポーツ少年団顧問/小倉南北少年ソフトボール連盟顧問/小倉南北小学生バレーボール連盟会長/小倉区剣道連盟顧問/北九州市食品衛生協議会顧問/勝山足立ライオンズクラブ会員/小倉北美術連盟顧問/(社)福岡県作業療法協会顧問/小倉北消防団第3分団顧問/足原校区まちづくり協議会会長/足原校区自治連合会長/足立北町内会長/社会福祉法人理事/NPO法人理事/第64代小倉高校野球部父母会長/元小倉北区中学校PTA連合会長/元霧丘中学校PTA会長/元足原小学校PTA会長/保護司/日本パーテーダー協会北九州支部顧問

中村よしお事務所 〒802-0043
北九州市小倉北区足原2丁目1-39
TEL (093) 932-8533 FAX (093) 922-8277
E-mail●nakamura-y3226@nifty.com URL●http://www.nakamura-yoshio.jp/



北九州リハビリ報告 vol. 25

北九州市議会議員 中村 よしお

2014.10.25

中村よしおが 第一分科会主査を務めました!



平成25年度決算議会報告

平成25年度決算議会が9月2日から30日まで開催されました。決算は3つの分科会に議員が別れ審査しますが、総務財政委員会及び建築消防委員会関連決算を審査する第一分科会の主査を中村よしおが担当しました。

主査の役割は第一分科会の進行及び報告内容の取りまとめ、そして11月に開催されます議会報告会で第一分科会関連内容を報告します。

最終面に議会報告会の案内を掲載しておりますのでぜひご参加ください。今回は議場でも開催され、先着60名様には議員席に座っていただきます。

さて決算の目安の一つに財源調整用基金の取り崩しが大きなポイントになります。財源調整用基金が0になると自転車操業状態といえますし、赤字が一定ラインを越えると財政破たんになります。今回の決算では財源調整用基金の取り崩しはゼロで単年度収支が均衡であったことは喜ばしいことでした。

ただ喜んでばかりはいられません。北九州市の財政が歳入面においては自主財源に乏しく国の仕送りにあたる地方交付税に依存し脆弱であること、歳出面では今後ますます進展する高齢化により福祉・医療費が増加すること、他都市より多い公共施設の建て替え時期がせまり、公共施設を減らさないと財政破たんすること等の状況は変わりません。

平成25年度は国家公務員の期限付き給与減額支給措置に市職員の給与も準じたため人件費が削減ができたり、大型共事業がたまたま終わった年であることも基金取り崩しゼロの要因になっています。給与の減額措置は平成26年3月で元に戻っていますし、前述の公共施設の建て直しに今後莫大な費用がかかります。

これからも皆様の貴重な血税を適正に使うためにも市議会議員としてチェックしていきます。

歳入

●市税収入：2年ぶりの増収

- ①個人市民税は納税義務者の増加等で459億円
(対前年度3億円の増)
- ②法人市民税は企業収益の改善等により126億円
(対前年度5,200万円増)
- ③固定資産前は新增築の増等により690億円
(対前年度300万円増)
- ④市たばこ税は県からの税源移譲により81億円
(対前年度8億円増)
- ⑤市税収入率97% (前年度に比べ0.5ポイント上昇)

●地方交付税 (国からの仕送り)：前年度より若干の減

臨時財政対策債 (国の財源不足のため一時的に市が代行して借りている地方交付税) を含め、887億円 (対前年度5億円減)

●市債発行額：減額

臨時財政対策債を含めた市債発行額は650億円 (対前年度45億円減)

歳出

●義務的経費 (人件費、扶助費、公債費)：2年ぶりの減

- ①人件費は期限付き人件費減額支給措置により638億円
(対前年度48億円減)
- ②扶助費 (福祉関係費) は生活保護費は減少したが障害福祉費の増加により1,192億円 (対前年度12億円増)
- ③公債費 (借金返済費) は660億円 (対前年度3,300万円減)

●福祉・医療関係繰り出し金：高齢化社会の進展等により7年連続の増加

1,603億円 (対前年度16億円増)

●投資的経費 (公共事業費)：大型事業の終了により減少

コムシティーや黒崎副都心「文化・交流拠点地区整備事業」(びびしんホールや八幡西図書館)といった大型事業が終了したこと等により642億円 (対前年度60億円減)

財源調整用基金(貯金)

2年ぶりに財源調整用基金の取り崩しがゼロとなり単年度収支が均衡。

平成25年度末における基金残高は265億円 (対前年度22億円増)

市債(借金)残高

臨時財政対策債を含めた市債残高は9,899億円 (対前年度196億円増)

トピックス

平成26年9月議会一般質問

土砂災害対策と避難について

- ①本市の土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域の現状と対策
- ②夜間災害に対する対策
- ③短期的な避難場所としてエアコンが導入される小中学校の教室を利用すべき
- ④避難困難者の避難支援



東日本大震災被災地支援について

- ①釜石市への支援の現状と今後の計画



釜石市▶
まだまだ多くの方が仮設住宅で暮らしています!

介護保険について

- ①特別養護老人ホーム待機者のための老健施設、グループホーム、有料老人ホームなどの施設の空き状況を定期的に確認できるシステムの構築が必要
- ②介護保険法の改正により、現行のサービスは今後どのようになるのか、また今後のスケジュールについて
- ③障害者スポーツセンターアレアスやその他の市営駐車場では障害者の減免はあるが、介護保険要介護認定者には減免がないのは不公平である。早急に改善するべく要望する

学力向上について

- ①学力向上は確かに大事なことであるが、学校教育には社会性や礼儀、問題解決能力や打たれ強さ(生き抜く力)を身につける等他にも様々な大切な目的がある
学力向上という目的を目先の順位にとらわれ、はき違えてはいけないと思うが、見解を尋ねる
- ②教師の負担軽減のため理科、音楽、家庭科、体育等に専科指導を導入してはどうか
- ③教師が負担を感じることをひとつとして、授業日数が足りないという声を聞く。本市では、小中学校へのエアコンの導入が予定されているが、夏休みを短縮して授業時間を確保してはどうか
- ④2010年代後半から2020年代前半にかけて、全国的に教員の大量退職と大量採用の時代が訪れる。急激に世代交代が進む中で、教育の質を確保していくためには新人教育が重要となる。どのような工夫をしていく予定なのか

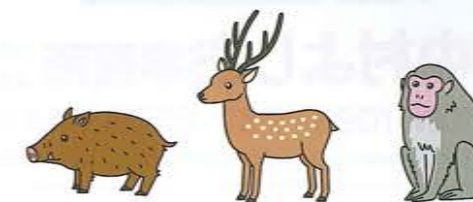
市職員の消防団加入および勤務時間中の出動について

- ①消防団の7割はサラリーマンであり、昼間の火災は団員が集まりにくい。北九州市は平成5年5月31日の総務局長通知で「職員が消防団員として消防団活動に参加する場合、職務専念義務を免除できる」としている
そこで市職員で消防団員となっている者が業務に支障がない範囲で職場近くの火災に出動できるようにしてはどうだろうか?
- ②消防団員数の増加のため北九州市職員に消防団に加入するよう働きかけ、日中だけでも良いので消防活動に積極的に協力するようにするよう支援すべきではないか



野生動物や野良猫の餌付けについて

- ①野生動物による被害の状況及びその対策について尋ねる
- ②のら猫による被害及びその対応状況について尋ねる
- ③昨年9月、野生動物への餌付けを禁止する条例を制定すべきとの質問を行い、他の自治体や先進的な取り組みについて調査・情報収集を行うとの答弁があった。その後どのような検討がなされたのか尋ねる



いよいよ小中学校に
エアコン導入

以前より保護者を中心に要望の高かった普通教室へのエアコン設置が始まります。全小・中学校、幼稚園が対象です。来年度数校程度整備し、3・4年間で全校整備します。事業費は精査中ですが、設置費約84億円、維持費約2億円です。



若戸大橋・トンネル
無料化へ

若戸大橋とトンネルがいよいよ無料になります。今年中に現在残っている借金約78億円と年間維持費約5億円めどを立て、借金返済予定の2027年をどれくらい前倒しできるかを固める方針です。前倒しの財源はPCB処理追加受け入れに伴う国の補助金等です。



メディアドームや西日本
総合展示場で使用できる
スポーツマット購入

剣道やバドミントン、テニスなどの大規模な大会を誘致するために1億2,000万円をかけてスポーツマットを購入することにしました。(平成26年9月議会補正予算)
今後はメディアドームや西日本総合展示場で大会を開催することができるようになります!

